

ニュースレター限定 社長コラム

『出張営業トレーニング』

代表取締役 近藤 千奈美

先日、事務所を離れて1泊2日で営業をしてきました。

システムソリューション課のM マネージャーのトレーニングを兼ねてです。

マネージャーの仕事はいろいろあります。弊社では事業部制になっているため、管理職でも管理業務がきちんとできていればよいというだけではなく、営業力もある程度の知識・経験があることが求められます。

何のための管理なのかと言えば、当然、事業成果を上げるためだからです。

成果を上げるために最も必要なことは、お客様に弊社のサービスを知っていただき、購入してお使いいただき、また気に入って何度もお取引を積み重ねさせていただくことにあります。その基本の基を体験することにより、具体的な品質のレベル感や品質を上げることの大切さ、販売体制や制作の体制の必要度などが、体験を通じて腹落ちするので具体的な行動を考え、リーダーとして事業運営を実行する力になります。

また、営業力を身に着けることは、社外はもとより社内でも必須のスキルと言えるでしょう。

社内での円滑な人間関係は、仕事で組んだ人との仕事がうまく行くか、気持ちよく一緒に仕事ができるかで決まるものです。よい人間関係づくり、よい結果作りは営業力そのものではないでしょうか。

ということで、将来のお客様に向けて、自社 PR をした M マネージャー。恥ずかしさを乗り越え、お客様のため、自社のため、自分のために前進、前進！



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

株式会社コンテックス



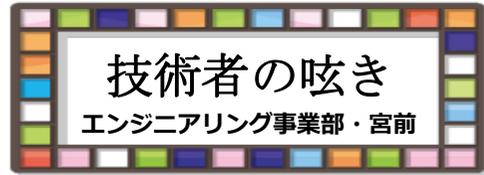
Phone : 042-744-1080

e-mail : tsd@kontecs.com

URL : <https://www.kontecs.com>



『電子サクソ ともいうそうです』



2024年11月に入社した宮前と申します。よろしくお願いします。

私は学生時代からフルートを吹いているのですが、最近は昼間に楽器に触れる時間が設けられず、夜でも周りに気兼ねなく演奏できる楽器はないかと探していたところ、ウィンドシンセサイザーなるものを見つけました。

スピーカーやイヤホンを通じて音を出すのでいつでもどこでも演奏できる優れものです。

最近は便利なものがあるなあと思っていたら、なんと1980年代には日本で使用している方がいたそうです。

思ったよりも歴史の深い楽器でした。



『集中力』



人間は一度失った集中力を回復するのに23分かかってしまうそうです。

スマホの着信や通知が鳴るたびに反応しているとそのたびに集中力が途切れ23分が失われていく…だいぶ時間をムダにしていそうですね。

そういえば、地元に戻ってくるまでは個人スマホのLINE通知はすべて切っていました。その頃から比べたら、あれこれと色々なところに気が散っていて集中してないかも!?

集中力が低下していると運が来ても見過ごしてしまうとも聞いたし、ためしに通知オフに戻してみようかな笑

ニュースレター限定 営業マンのコラム

『ついに大台に・・・』

グローバルビジネス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



年が明けて1月が経ちました。そして先日36回目の24歳を迎えました。

フェイスブックで大勢の友人や諸先輩方からお祝いのメッセージをいただきました。でも、カントリー関係者の間ではまだまだ若手なんです。

初期高齢者の仲間入りということですが、カントリーの方々は中期、後期高齢者が多いのです。

それでも、皆さんちゃんとライブ会場内を徘徊しているし、歌詞やコードをすっ飛ばしながらも演奏しています。継続は力ですね。ダンサーの方々も皆さん背筋がスッと伸びていて、若々しいです。カントリーダンスは激しい動きはありませんが、じっくりと筋肉を使う感じなので中後期高齢者の皆さんもバリバリ踊っています。

打ち上げになると昭和が炸裂します(笑) そんな中でいつまでも若手扱いしてもらえるのでこちらも調子に乗ってしまいます。気持ちはいつまでも若く、倒れるまでロケンローを続けます!

あ、誕生日プレゼントは年内いっぱいまでは受け付けています!お早めに!!





Q: 2024 年の英語の流行語を知りたいです

- A. 各英語辞書サイトで 2024 年の Word of the Year が発表されました。
受賞ワードや受賞候補ワードの中から注目の言葉をいくつか取り上げてみましょう。

brain rot----- 「つまらないあるいは価値の低い（オンライン）コンテンツの過剰消費による精神または知的状態の悪化」を意味します。使用頻度は前年比で 230%も増加しており、現代社会を色濃く反映している表現だと言えます。

polarization ----- 光学や電気分野でも用いられますが、政治・経済的文脈で「分極化」または「分断」という意味で、とりわけアメリカ大統領選挙期間中にメディア界全体で広く使用されました。

dynamic pricing - 「市場の状況に応じて商品やサービスの価格を素早く変動させる価格戦略」のことで、航空・ホテル業界ではすでに導入されています。最近では音楽公演チケットにも適用されるようになり、需要の急増により大物アーティストのコンサートチケットの価格が数時間で跳ね上がったことが物議を醸し、この表現が再び注目されるようになりました。

manifest----- 形容詞で「明白な」、動詞で「明らかにする」という意味の単語ですが、最近では「視覚化やプラス思考などにより願望を現実化する」というニュアンスでも用いられ、海外の歌手やスポーツ選手がこの意味で使用して話題になりました。

流行語はその年を思い出すきっかけになるものです。
2025 年は明るい意味合いの言葉がたくさん流行する一年になると良いですね。



HP にバックナンバーが掲載されています♪